

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2007-153892(P2007-153892A)

【公開日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-323796(P2006-323796)

【国際特許分類】

C 07 D 401/14 (2006.01)

A 61 K 31/506 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 13/08 (2006.01)

A 61 P 13/10 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

A 61 P 19/08 (2006.01)

A 61 P 19/10 (2006.01)

A 61 P 35/04 (2006.01)

A 61 P 1/02 (2006.01)

【F I】

C 07 D 401/14 C S P

A 61 K 31/506

A 61 P 35/00

A 61 P 13/08

A 61 P 13/10

A 61 P 35/02

A 61 P 19/08

A 61 P 19/10

A 61 P 35/04

A 61 P 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月12日(2010.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

N-[3-[2-[2-(2,3-ジヒドロ-2-オキソ-1H-インドール-5-イル)アミノ]-5-(トリフルオロメチル)-4-ピリミジニル]アミノ]メチル]-2-ピリジニル]-N-メチルメタンスルホニアミドの薬学的に許容できる塩。

【請求項2】

前記塩がベシレート塩である、請求項1に記載の化合物の塩。

【請求項3】

前記塩がメシレート塩である、請求項1に記載の化合物の塩。

【請求項4】

前記塩がトシレート塩である、請求項1に記載の化合物の塩。

【請求項5】

前記塩が塩酸塩である、請求項1に記載の化合物の塩。

【請求項6】

前記塩が準化学量論的溶媒和物である、請求項1から5のいずれか一項に記載の塩。

【請求項7】

前記準化学量論的溶媒和物がエタノールを含む、請求項6に記載の塩。

【請求項8】

N-[3-[[2-[(2,3-ジヒドロ-2-オキソ-1H-インドール-5-イル)アミノ]-5-(トリフルオロメチル)-4-ピリミジニル]アミノ]メチル]-2-ピリジニル]-N-メチルメタンスルホニアミドの準化学量論的溶媒和物。

【請求項9】

前記溶媒和物が、水、アルコール、極性有機溶媒およびそれらの組み合わせからなる群から選択される溶媒を含む、請求項8に記載の溶媒和物。

【請求項10】

前記溶媒が、水、エタノールおよびそれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項9に記載の溶媒和物。

【請求項11】

前記溶媒和物がエタノールを約0.1～約3モル%の範囲で含む、請求項10に記載の溶媒和物。

【請求項12】

請求項1から11のいずれか一項に記載の塩または溶媒和物、および薬学的に許容できる担体または希釈剤を含む医薬組成物。

【請求項13】

異常な細胞増殖の治療に有効な量の請求項1から11のいずれか一項に記載の塩または溶媒和物、および薬学的に許容できる担体または希釈剤を含む医薬組成物。

【請求項14】

前記異常な細胞増殖が癌である、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項15】

異常な細胞増殖の治療に有効な量の請求項1から11のいずれか一項に記載の塩または溶媒和物を、有糸分裂阻害剤、アルキル化剤、代謝拮抗剤、挿入抗生物質、増殖因子阻害剤、放射線、細胞周期阻害剤、酵素、トポイソメラーゼ阻害剤、生体応答調節物質、抗体、細胞毒性剤、抗ホルモン剤および抗アンドロゲン剤からなる群から選択される抗腫瘍剤と共に含む、哺乳動物の異常な細胞増殖を治療するための組み合わせ物。

【請求項16】

前記塩が準化学量論的溶媒和物である、請求項2に記載の塩。

【請求項17】

前記溶媒和物がエタノールを含む、請求項16に記載の溶媒和物。

【請求項18】

請求項2に記載の塩、および薬学的に許容できる担体または希釈剤を含む医薬組成物。

【請求項19】

哺乳類の癌の治療に有効な量の請求項2に記載の塩を含む医薬組成物。

【請求項20】

異常な細胞増殖の治療に有効な量の請求項2に記載の塩を、有糸分裂阻害剤、アルキル化剤、代謝拮抗剤、挿入抗生物質、増殖因子阻害剤、放射線、細胞周期阻害剤、酵素、トポイソメラーゼ阻害剤、生体応答調節物質、抗体、細胞毒性剤、抗ホルモン剤および抗アンドロゲン剤からなる群から選択される抗腫瘍剤と共に哺乳動物に投与し、哺乳動物の異常な細胞増殖を治療することを特徴とする、請求項2に記載の塩を含む医薬組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【化 1】

